



林業普及現地情報
2025-21号（通算553号）
令和8年1月21日
盛岡広域振興局林務部
記述者 後藤幸広

盛岡地区林業現場見学会の開催について

1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、地域材の利用促進や、担い手の育成・確保など、地域の重要課題の解決に向けた様々な取組を行っています。

今般、将来の林業担い手として期待される盛岡農業高等学校生（2年生 22名）と、次世代の設計・建築士として活躍が期待される産業技術短期大学校生（2年生 20名）を対象に、12月22、23日の2日間に渡り「盛岡地区林業現場見学会」※を開催しましたので、その取組を紹介します。

2 林業現場見学会

(1) 伐採現場見学（川上） 22日

初めに、岩手県森林整備協同組合（作業：(株)村上林業）の伐採現場を見学しました。

伐採した木は直径約80cmのナラと、約40cmのアカマツをチェーンソーにより伐倒しました。大きなナラの木が倒れた際には、地面が揺れるほどの衝撃があり、見学した生徒はその迫力に大きな歓声をあげていました。



(2) 木材市場見学（川中） 22日

次に、岩手県森林組合連合会の盛岡木材流通

センターを見学しました。岩手県が誇る多種多様な樹種と主な用途などの説明に、大変興味を示している様子でした。



(3) 製材工場見学（川中） 23日

次に、(有)二和木材矢巾工場を見学しました。間伐材などの丸太から、製材・乾燥・仕上（プレーナー加工）に至る各工程の説明に、熱心に耳を傾ける様子が伺えました。

(4) 大型木造施設見学（川下） 23日

最後は、盛岡市繫地区にある旧繫小学校の木造校舎と室内運動場を見学しました。

大型木造建築物に木材がどのように使われているかを学び、木に触れ、木のぬくもりを実感している様子でした。

3 おわりに

今回の見学会は、参加した生徒に林業・木材産業への理解をより深めていただくため、川上から川下の一連の流れを学ぶプログラムとしました。

見学会後に行ったアンケートでは、高校生の9割以上が「林業・木材産業に興味が出た」、短大生の全員が「今後県産材を使用してみたい」と回答しており、将来の林業担い手と地域材の利用促進に期待が膨らみます。

※この取組は、令和7年度地域経営推進費事業（林業担い手確保対策事業）により実施しました。

謝辞： 取組を実施するにあたり、現場見学先の関係各位には多大なる御協力をいただきました。ここに記して敬意を表します。